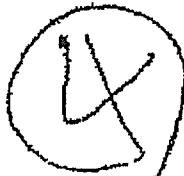


甲第143号証の8

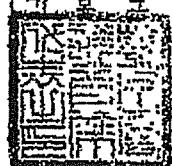
한국 424 1962년 3월 30일

한국 예회 제 62 호



외무부장관명

제 5 차 한일 회담 예비회담  
수석 대표 대리 김 윤 구



일반 청구권 관계 문서 송부 의견

여러 의견, 3월 22일에 개최된 제 7 차 일반 청구권 소위원회에서 일본측 이 언급한 Aid Memoire (제 7 차 일반 청구권 소위원회 회의록 일본측 발언 참조)에 관하여 대표본의 한일 회담 관계 서류를 조사한바 1953년 제 2 차 한일 회담시 청구권 관계 비공식 회의 석상에서 미국측 이 일본측에 3 차에 걸쳐 Aid Memoire 따로 제목을 붙인 "미로" 형식의 문서를 전달하였다는 기록은 있으나 원문을 발견치 못하여 일본측에 요청하여 원문이 일본측에 통문서의 사본을 받았사amp;gt;기에 이를 험송 하오니 사주 하시와 경로 하시기 바랍니다.

비첨: 상기 문서 사본



이상

平成文書取扱				
件名	件號	收件人	送件人	日期
204	0X	1968	1063	1962

968



96  
1063

檀紀 4294 (1961) 年 3 月 30 日

韓日予会 第 62 号

第 5 次 韓日会談予備会談

首席代表 代理 金 潤 根

外務部長官 貴下

一般請求権小委員会関係文書送付の件

頭書の件、3 月 22 日に開催された第 7 次一般請求権小委員会で日本側が言及した Aid Memoire(第 7 次一般請求権小委員会会議録日本側発言参照)に関して代表部の韓日会談関係書類を調査したところ、1953 年第二次韓日会談時請求権関係非公式会議席上でわが国側が日本側に、三度にわたって Aid Memoire と題目をつけた“メモ”形式の文書を渡したという記録はあるが原文を発見できず、日本側に要請して原文が日本語でできた同文書の写本を受け取ったので、これを添送しますから査収なさり検討されるよう望むものであります。

別添：上記文書写本

以上

AIDE-MÉMOIRE on talking of the 14th May, 1953

SSOT

1. 韓國國寶、歴史的記念物（美術工芸品、古著類その他）返還  
請求に因る日録提出打合の件
2. 韓國地図原版、某地地図及伏説圖返還請求に因る日録提出  
打合の件
3. 韓国人（法人会員）所有の日本有価証券（金債、支票、株式その他）  
償還、その他取扱方法に関する日本側意見照会の件
4. 韓国人被徴用賃務者に対する請求払込金額算定に因る質疑打合の件

II 事務連絡

208

AIDE-MÉMOIRE on talking of the 23rd May, 1953

PCIT

1. 1945年9月20日AM SCAPIN 14号以上3特定期在韓活動用鎖  
機関（朝鮮銀行、朝鮮産業銀行、朝鮮信託株式会社、朝鮮金融組合連合会）  
2. 在日財産、密使並公印至る管理状況照会の件
3. 1945年9月22日付 SCAPIN 行進牒文 1948年11月17日付  
SCAPIN 1945年12月23日在韓会社 348社の在日財産管理  
清算方法、以次同所所有有価証券再進行状況照会の件
3. 大韓漢戰争中の韓国人被徴病者、或強者 74,800名（赤十字協会・通江  
火船、國姓田記載者）

209

名鑑提出可能) 1. 対于3. 損傷金等 損害に關する日本側対策 及び意見

4. 太平洋戦争中 韓国人被徵用勞務者 (1946年 9月 30日 現在 被徴者数)

105,151名 内 徵用牛死亡者 1,360頭、同廻復者の 2,000名 但し、

以上は未確実数字なり。追て名鑑提出可能) 1. 対于3. 韓赤松金

尾公 勝利金等 損害に關する日本側対策 及び意見

5. 韓朝の1. 古リテ 交換回収 3. 9. 20 里原、並びに 日本銀行員

立会の下に 損害金及く 日本銀行員及く 月末残高及び金流算

方法並びに 時期に 対于3. 日本側意見

6. 韓国人が 日本人 日本占領地域上り 故國の時、當該地日本臣民に

9.69

強制的1. 保護費起止 日本銀行員、日本軍要、日本政府公務等  
保護費既及く 同代り の清算方法並びに 時期に 対于3. 日本  
側専内の意見

7. 戰済修繕直后 朝鮮銀行が 支替赤松川在3. 日本政府一般会計

歳出國庫金 1,42,859.00元 以降、日本銀行江付3. 儲蓄金

15年 8月 8日 算基方法及く 時期に 対于3. 日本側専門的  
意見

9.67

8. 朝鮮銀行者 銀行準備在日墨元方法及く 時期に 対于3. 日本側  
意見

211

7. 旧朝鮮總督府 東京出張所資產(朝鮮總督府 鉄道局)賣失清組合  
財產)管理狀況照會の件

10. 朝鮮獎賞金維持期間 在日財產現況(同上) 資金2件

212

971

AIDE-MÉMOIRE on talking of the 28th May, 1953

490F

1. 旧國家財產 韓國國有化(同上) 件 通知

2. 朝鮮清算組合連合会中央会 在日資本等返還方法(同上) 日本側  
意見照會の件

3. 諸未收金項目別清算金額提示 及其 日本側資料 之 摆會依頼 件

A の 部

朝鮮電氣株式会社 住友社代金前貸金 6,187,067 円

京城電氣株式会社 " 2,307,088 円

213

支那事務局		小計
南朝露氣株式会社	"	801,016.19
西鮮合同露氣株式会社	"	132,603.14
農地開發當局	"	282,406.19
馬車会社馬代金前済金	"	841,745.19
<b>直 2. 部</b>		
在外日本軍部機關の供給金等		1,933,193.19
麻薺代金未收金(財庫貯蓄外)		124,285.722.19
交通部運價委員会その他未收金		31,780.386.19
林業物供給代金未收金		51,965.627.19
朝鮮食糧糧價未收金		53,995.432.19
水利組合連合会關係未收金		88,910.19

972

214

農地開發當局工事前済金		小計
(韓國人加入者社对于日本十九生命保險 会社の生命保險責任準備金		255,542.19
<b>C. 2. 部</b>		8337
同未確定期限保險未概算		400,000,000.19
(同)損害保險金社の本社保險金		50,000,000.19
同(同)金社(同)对于朝鮮火災海上保險 会社の再保險未收金		7,305,468.33
(日本側在韓支店銀行の額金並びに被替組屋 その他雜費代払金		10,630,690.83
(日本側在韓支店銀行の額金並びに被替組屋 その他雜費代払金		227,638,722.25

215

D. 部	
郵便局販賣金庫開鎖費出取基準	1,475,967,080 円
(貸借決算基準)日後12か月の解説例 交付取引勘定	173,246,433 17
簡易生命保険關係受取金	391,352,964 円
薦工品代金未收金	3,563,221 19
放送局注文品代金未收金	115,604 円
郵便局關係未收金	5,142,174 円
以上 A. B. C. D. 各部の内容明確にして日本韓國代表部	

216

973

韓奎永書記官 強制下隨時御報告被下度	
D. 部 (借留事項)	
正式提示支 留保正請求權項目及成概算金額	1069
1. 韓國人侵更に对于是給賃持未払金 (日本退院前12ヶ月以内の5億円) 12 傷付3件	
2. 第3回 所在の韓國人(法人を含む)財産回復又は捕縛 方法江 關付3件	
3. a. 日本法人に对于了韓國の金融機關の滞り債金 509,461,246 円	

217

b. 日本人に対する韓国内外金融機関の借入額	211,201,763.14
c. 日本輸入並びに日本人民に対する被借金	1,652,626.14
d. 海運輸入並びに日本人に対する被借金	1,621,210,215.14
e. 貿易被借金	117,617,200.14
f. 貿易保留金	102,592,550.14
g. 韓事行動による被借金	232,798,883.14